

安全データシート(SDS)

作成 2021-07-20
改訂 -

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ペリオメイト パウダー
供給者の会社名	株式会社ナカニシ
住所	栃木県鹿沼市下日向700
担当部門	品質保証部
電話番号	0289-64-3380
FAX番号	0289-62-5636
推奨用途及び使用上の制限	歯面の清掃

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性 発がん性 区分1A
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(呼吸器 腎臓 免疫系)
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
発がんの恐れ
長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、腎臓、免疫系の障害のおそれ

注意書き 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
保護手袋を着用すること。

応急措置

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診察を受けること。

保管 廃棄

施錠して保管すること。
内容物、容器を国際、国、都道府県又は市町村の規制に従って廃棄すること。

他の危険有害性

粉じん爆発危険性: 拡散した場合、爆発可能性のある粉じん-空気混合物を形成する可能性あり。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物
化学名または一般名 歯面研磨材

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS登録番号
			化審法	安衛法	
グリシン	98%以上	H ₂ NCH ₂ C OOH	(9)-77	既存	56-40-6
シリカ	2%未満	SiO ₂	(1)-548	既存	7631-86-9

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし

労働安全衛生法 名称等を通知すべき危険物及び有害物 結晶質シリカ(政令番号:165の2)
(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) (10%未満)

4. 応急措置

吸入した場合 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当て、診察を受けること。

皮膚に付着した場合 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当て、診察を受けること。

眼に入った場合 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当て、診察を受けること。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。
飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当て、診察を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤。
泡消火薬剤

使ってはならない消火剤 棒状注水。

火災時の特有の危険有害性 燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
拡散した場合、爆発可能性のある粉じん-空気混合物を形成する可能性あり。

特有の消火方法 火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。
消火作業は、風上から行う。
周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。
多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 漏出したものを掃き集めて紙袋またはドラムなどに回収する。
粉じんが飛散しないようにして取り除く。

二次災害の防止策 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
空気中の濃度をばく露限度以下に保つために、防爆型の換気装置にて換気を行うこと。

安全取扱注意事項 使用前に取扱説明書入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。

接触回避 『10. 安定性及び反応性』を参照。
衛生対策 情報なし

保管

安全な保管条件 施錠して保管すること。
安全な容器包装材料 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会	ACGIH
グリシン	未設定	未設定	未設定
シリカ	未設定	未設定	未設定

設備対策

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
密閉する設備又は局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸器保護具 必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。
手の保護具 保護手袋を着用すること。
眼の保護具 保護眼鏡、保護面を着用すること。
皮膚及び身体の保護具 保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状態	固体
	形状	粉末
	色	白色
臭い		無臭
融点・凝固点		～233°C
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
可燃性		データなし
爆発下限及び爆発上限界／可燃限界		下限:データなし 上限:データなし
引火点		データなし
自然発火点		データなし
分解温度		～280°C
pH		データなし
動粘性率		データなし
溶解度		水に可溶
n-オクタノール／水分配係数		データなし
蒸気圧		データなし
密度及び／又は相対密度		～1.16 g/cm ³ at 20°C
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件下で安定である。
化学的安定性	通常の条件下で安定である。
危険有害反応可能性 避けるべき条件	粉じんが空気と混合すると、粉じん爆発の可能性がある。 熱、高温の表面、火花、裸火、その他の発火源から遠ざける。 喫煙しないこと。 微細な粉塵が混入すると粉塵爆発の危険性があります。
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	経口	区分に該当しない:シリカ(出典:NITE) データなし:グリシン 分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。
	経皮	区分に該当しない:シリカ(出典:NITE) データなし:グリシン 分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。
	吸入(粉じん)	(急性毒性(吸入:気体)) GHS定義による気体ではない。 (急性毒性(吸入:蒸気)) データ不足のため分類できない。 (急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)) データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性及び刺激性		区分に該当しない:シリカ(出典:NITE) データなし:グリシン 分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性		区分2:シリカ(出典:NITE) データなし:グリシン 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないが毒性未知成分が濃度限界以上なので分類できない。
呼吸器感作性		データ不足のため分類できない。
皮膚感作性		データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性		データ不足のため分類できない。
発がん性		区分1A:シリカ(出典:NITE) データなし:グリシン シリカ \geq 0.1%のため、区分1Aに該当。
生殖毒性		(生殖毒性) データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		区分3:シリカ(臓器=気道刺激性 出典:NITE) データなし:グリシン 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないが毒性未知成分が濃度限界以上なので分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		区分1:シリカ(臓器=呼吸器、腎臓、免疫系 出典:NITE) データなし:グリシン シリカ \geq 1%のため、区分2(呼吸器, 腎臓, 免疫系)に該当。
誤えん有害性		データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性
短期(急性)

分類できない:シリカ(出典:NITE)

データなし:グリシン

分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。

水生環境有害性
長期(慢性)

分類できない:シリカ(出典:NITE)

データなし:グリシン

分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。

残留性・分解性

情報なし

生体蓄積性

情報なし

土壤中の移動性

情報なし

オゾン層への有害性

データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規則

Regulatory Information by Sea

Not dangerous goods

Marine Pollutant

Not applicable

Transport in bulk according to
MARPOL 73/78,Annex II,and the IBC
code

Not applicable

Regulatory Information by Air

Not dangerous goods

国内規制

陸上規制

非該当

海上規制情報

非危険物

海洋汚染物質

非該当

MARPOL73/78付属書II及びIBCコー
ドによるばら積み輸送される液体物質

非該当

航空規制情報

非危険物

特別の安全対策

輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号

なし

15. 適用法令

化学品にSDSの提供が求められる3法令の該当非

労働安全衛生法
(通知対象物質) 該当

毒物及び劇物取締法 非該当

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) 非該当

適用される主たる国内法令

労働安全衛生法 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

16. その他の情報

連絡先 株式会社ナカニシ

参考文献 NITE GHS分類公表データ
EU CLP Regulation, AnnexVI

免責事項 記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。
又、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。